

補助金チェックシート(新規)

作成年度: 令和5年度

1. 補助金の内容

補助金名称	地域生活支援拠点等整備補助金	補助金番号	C1-27
所管部署	障害企画課		
根拠名称 (交付規則以外)	地域生活支援拠点等整備補助金交付要綱		
制定状況	○ 制定済 ⇒	令和 年 月 日施行	
	○ 未制定 ⇒	令和6年4月制定、令和6年4月1日施行予定	
交付の目的	補助金の交付することにより、地域生活支援拠点等の緊急時の受け入れ体制の面的整備を行い、障害者の地域生活を促進することに寄与するものです。		
補助対象経費	短期入所事業所の障害福祉サービス提供にかかる事業経費(食事代、緊急対応費用等)		
補助率・補助額	定額補助		
交付先	緊急時の受け入れを行なった短期入所事業所		
開始年月日	令和6年4月1日(予定)	サンセット期日	令和8年度末
補助金性質分類	制度的補助	団体運営補助	事業費補助
法令等での義務付け	なし	法令等名称	その他 ○

2. 予算要求額

(千円)

	月補正	令和6年度当初予算
要求(予定)額		196
特定財源	国庫支出金	0
	府支出金	0
	その他	0
一般財源	0	196

(件)

交付見込み件数	4
---------	---

3. 「補助金の見直しに関する方針」との整合性

① 補助金交付の基本的な視点(いずれかが不適合の場合は補助制度として承認されません)

視点	チェックポイント	チェック	理由・詳細等
公益性	補助金交付対象事業の目的や内容が、広く市民の利益に貢献するもので、特定のものの利益に供するものではない。	✓	当事業は緊急時の受け入れ体制の整備を行い、障害者の地域生活を支えるもので、当該補助金は広く市民の利益に貢献するものである。
必要性	関連する施策目標や事務事業目的の達成に必要な不可欠な補助金交付である。	✓	障害者総合支援法にて努力義務が定められている地域生活支援拠点等の整備を促進するために必要な補助金である。
	現在の社会経済情勢においてニーズが高い又は高いニーズが見込まれる。(ニーズを把握している)	✓	障害者が地域生活を送るための体制整備となるため、ニーズが存在する。
有効性	期待する効果をあげる見込みがある。(具体的な効果測定方法が確保されている)	✓	本制度の補助回数にて、緊急時の短期入所受入れ回数を把握する予定。
	補助金交付が委託や直接執行等と比較し、より適正で効果的な手法である。	✓	緊急時の短期入所受入れを行う事業所を支援し、受入れ可能な事業所を拡大する事業のため、直接執行、委託等限局的な支援は不相当である。

公平性	要件を満たす不特定多数が交付申請可能な制度となっている。又は特定のもののみに交付を行う合理的な理由がある。	✓	要件に該当する複数の団体を補助金交付対象としている。
妥当性	全額補助となっていない。又は全額補助を行う合理的な理由がある。	✓	補助額については、障害者虐待による一時保護にかかる費用(食事代等)に対する助成額と一致させている。
	補助率、補助金額、補助対象経費等が明確である。(補助金交付要綱の整備など。)	✓	今後定める交付要綱にて整備を行う。
	補助率、補助金額、補助対象経費が公表されているなど透明性が確保できる。(ホームページでの補助制度の公表など)	✓	今後ホームページにて補助制度を公表する。 対応予定時期:令和6年4月

②補助金性質分類別の視点

[その他]

該当	チェックポイント	チェック	理由・詳細等
○	他の類似制度と重複が無いか確認をしている。	✓	他の制度とは重複しないよう運用する。